

広報モニターの声（令和5年2月実施）

140号誌面に対するご意見・ご感想

《中学生模擬議会》

◎事前に検討やアドバイス？（学校での）があったかもしれませんが、質問が根本的なものから、生活や、自分たちの将来に関係するものなど、良い内容であったと思いました。未来の主権者として、地方自治、国の政治に関心をもってもらうための大切な実践であると思います。投票率の低さに如実に表れる？若者の政治的な無関心は世界的な流れかと思われたりもしますが、香港などでは、意識的に子どもへの主権者教育に取り組んだ結果、民主化を求める運動に多くの若者が主体的に立ち上がったとのこと（残念ながら弾圧されてしまいましたが）。長期的な視点をもって、民主主義や、人権の尊さを真剣に学ぶ機会、環境を大人が提供するようにしないと…と、非民主的な国家に世界の平和が脅かされる現状を目のあたりにして強く感じます。

◎正直今の中学生はすごいなあと思いました。将来は今よりももっと良い村になる為に頑張っていて欲しいと願います。

◎中学生がこのような体験をできること自体も素敵ですし、それを村民が読めることも素敵だと思います。中学生ならではの「ストレートな質問」は、村長・教育長・担当課長の考えを浮き上がらせる良い機会だと思います。

◎中学生議員の質問内容がしっかりしていて驚きました。学びの場を生かそうとする準備や心意気を感じました。質問の内容は、大人も村民として関心を持ち、取り組んでいく必要のある事柄で、勉強になりました。

◎知り合いのお子さまがいて目を引きました。今後も頑張ってもらいたいです。子どもたちの中からジェンダーフリー・水資源・貧困・SDGsなどの問題提起を読み、本当に着目すべき必要なことを、ふと考えさせていただきました。「じゃあ、私たちは何をすればいいの？」と、先生や親との話し合いの中から自分なりの考えを持ち、自分の言葉で話せる場を設けることが財産になっていくような気がします。個人・家庭・地区・村・広域・県・国・世界とつながっていると思うことができる場所になっていくと意義があると思います。

◎中学生のみなさんが村の将来を真剣に考えていることに、大変驚くとともに希望と勇気をいただきました。本当にありがとう！

<その他誌面>

○議員が多様な観点から質問していることがよくわかりました。これもモニターをお受けしたから感じられたことで、モニターとして議会活動に関わる人を増やしていくことが有効であると、体験を通して強く思いました。

○今回の議会だよりは読みやすく感じました。

○読むといろいろな工夫や努力をして誌面作りをされていることが良く分かります。「読む」ところまでひきつけるために、特に若い世代向けにQRコードなどを活用して簡単な読後アンケート、議会クイズ、抽選でクオカード…などあっても良いかな…とか？

○冒頭「中学生模擬議会」から始まったことにより、非常に読みやすくなりました。中学生からの疑問・それに対する回答を見た上で「一般質問」を読んでいくとすんなり読め、理解度も高くなった気がします。

○『きらきら村の仲間たち』村の歴史編さんに多くの人たちの努力があることを、村民の一人として感謝を申し上げます。本当に“いい仕事しています”と言いたい。ありがとうございます。

議会に対するご意見

○議会だよりを全て読むには時間がかかりますが、どれもが大切な事項なので、確実に進めてほしいです。

○子育てに優しい村。子育て世代は仕事が忙しく子守りは高齢者がするが、大芝高原は車でしか連れて行けません。高齢者の交通事故増えている昨今、小規模な公園もう少し何か所かできたら嬉しく思います。

○中学生への返答の中にあった「村の総合計画を進めるとSDGsが達成できる」という記述に不安を感じます。目標達成には村長が言うとおりの「地域住民参加を前提とした変革的手段」が必須であり、それら手段が住民から湧き上がってくるような村づくり（場づくり・制度設計・事業支援等）を行っていく必要があると考えます。